

令和4年度防府市産業戦略本部 第2回会合 議事録等

■開催日時・場所

令和5年2月16日（木）午後6時00分から
防府市役所1号館3階南北会議室

■次第

- 1 開 会
- 2 議 題

令和5年度当初予算（案）の概要について
今後の各種施策の展開等について

- 3 その他
- 4 閉 会

■配布資料

	資料名
1	令和5年度当初予算（案）の概要
2	令和5年度産業戦略本部関係予算（案）の概要（抜粋）
3	市内地図（防府のまちが変わっています!）
4	防府市の社会増 中四国地方で第1位!
5	〈事前配布資料〉 令和4年度第5次防府市総合計画「輝き!ほうふプラン」 重点プロジェクト進捗管理シート及び行政経営改革の主な取組状況一覧

■出席者名簿

敬称略・順不同

種別	所属団体・役職		名前	出欠
本部長	防府市長		池田 豊	出席
本部委員	大企業	マツダ株式会社 防府工場 総務部長	田中 真二	代理
		株式会社ブリヂストン 防府工場 総務課長	室田 聡	出席
		協和発酵バイオ株式会社 山口事業所防府 総務課長	大山 弘	出席
		東海カーボン株式会社 電極製造所 防府工場 工場長	杉山 芳朗	出席
		株式会社丸久 代表取締役 副社長	清水 実	欠席
	中小企業	王子ゴム化成株式会社 管理本部次長	尾高 盛巨	欠席
		東山口信用金庫 本店 業務部次長	守田 誠	出席
		大村印刷株式会社 取締役営業統括副本部長兼本社営業本部長	黒川 紀文	出席
		有限会社周防タクシー 代表取締役	新原 耕由	出席
		アボンコーポレーション株式会社 代表取締役	松村 憲吾	出席
		光浦醸造工業株式会社 代表取締役	光浦 健太郎	出席
		フラワースペース Co-co 代表	森本 幸代	出席
	関係団体	防府商工会議所 会頭	羽嶋 秀一	出席
天神町銀座商店街振興組合 理事長		種田 正幸	欠席	
防府流通センター協同組合 理事長		喜多村 誠	出席	
事務局	本部員	総合政策部 部長	石丸 泰三	
		産業振興部 部長	白井 智浩	
		土木都市建設部 部長	石光 徹	
		生活環境部 部長	金澤 哲	
	庶務	総合政策部 政策推進監	亀井 幸一	
		総合政策部 部次長	伊藤 忍	
		総合政策部 政策推進課 課長	廣中 一秀	
		総合政策部 政策推進課 課長補佐	大村 雅俊	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係長	田中 利明	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任	木原 隆太	
		総合政策部 政策推進課 企画政策係 主任主事	梅本 さゆみ	
総合政策部 政策推進課 企画政策係 主事	田中 友香			

1 開 会

市長（本部長）挨拶

2 本部委員紹介

事務局から出席委員の紹介

3 令和5年度当初予算（案）の概要について説明

- ・池田本部長から資料に沿って、令和5年度当初予算（案）の概要を説明
- ・総合政策部長から「新庁舎建設事業」、「デジタル化の取組」について説明
- ・産業振興部長から「中心市街地の活性化」、「農林業の活性化」、「中小企業者支援」について説明
- ・土木都市建設部長から「港湾整備」、「国道2号台道・鑄銭司区間拡幅の早期事業化」について説明
- ・生活環境部長から「カーボンニュートラルの推進」について説明

4 各本部委員による意見

本部長 まずは、令和5年度当初予算（案）に対する意見を伺う。

A委員 企業誘致について、道路ネットワークの整備や高いポテンシャルをもつ港湾の整備と並行して、固定資産税の減免を打ち出すなどの奨励制度の拡充を図り、力強く前へ進めてほしい。

本部長 製造業や波及効果のある企業に来てもらいたい。進出の話は、まず、県に相談があることが多いので、県から話があった時には、しっかり勝負していきたい。
また、港湾整備については、地元企業の皆様と一緒に頑張ってしっかりと進めていきたいと考えている。

B委員 中小事業者等物価高騰対策事業補助金について、活用したとの声を多く聞くが、知らない方も多いと思う。募集状況などの周知を図ってほしい。

本部長 現在、募集をしているところ。しっかりとPRしてまいる。

C委員 中小事業者等物価高騰対策事業補助金について、補助率3／4で上限30万円というサイズ感が、ちょっと挑戦してみようという事業者を後押ししてくれる良い制度と思う。

D委員 当金融機関のゼロ融資の終了に伴い、相談業務等が中心になってきている。こうした中、コネク22、創業・交流センターの存在感が高まっている。商工会議所とも連携し、しっかりと取り組んでいきたい。

E委員 コロナが2類から5類に引き下げられ、経済が正常化することを非常に期待しているが、ウィズコロナを前提とした経済対策が必要と思っている。

E委員 中小零細企業は物価等の高騰による価格転嫁に苦勞している。また、経営環境が厳しい。第5弾となるプレミアム付商品券発行事業は総額11億6,000万円、商品券の半分が中小企業でのみ使用できる専用券となっているため、中小企業への経済効果が大きく期待をしている。

本部長 国の出産・子育て応援給付金事業、子どもの成長サポート事業や住宅リフォーム等助成事業もあり、商品券ということで間接的ではあるが、地元経済の活性化につなげてまいりたい。

本部長 次に、カーボンニュートラルについて伺う。

F委員 ブルーカーボン事業について、鑄鉄漁礁により、藻場の再生に取り組んでいるが、まだまだ、海藻を増やしていく必要がある。二酸化炭素の減少、海水温度の低下、稚魚の隠れ場を増やすことでの漁獲量の増加などが期待できる。

F委員 ブルーカーボンクレジットの仕組みづくりに取り組んでいる。先進的な取組との評価をもらっており、地域で循環させるモデル地区を構築したいと思っている。

C委員 カーボンニュートラルについて、興味をもって取り組んでいきたいと考えている。しかし、何をもって成功かという指標が示しにくいことが課題と思う。

給食牛乳パックリサイクルや緑のカーテンなど市民の意識を高める取組が良い。子どもたちの科学アイデア、作品、研究コンテストのテーマをカーボンニュートラルにすれば、意識の向上につながると考える。

防府駅周辺を緑色で飾り、進捗状況で色を濃くしていくなど、みんなでカーボンニュートラルに取り組んでいることが判るようにすると面白い。

G委員 ペーパーレス化や電子化といった流れとともに、製造業の現場においても、機械のハイブリッド化が進められている。こうした部分についても、しっかりと取り組んでいきたい。

- H委員 マイナンバーカードを活用し、段階的であるが、年末調整のペーパーレス化を実施した。自社職員のマイナンバーカードの100%取得、ペーパーレス化を今後も進めていきたい。
- H委員 防府の自社工場は2035年に実現することを目標に取り組んでいる。電力供給の持続可能なエコシステムの構築が実現に向けたカギと思っている。
- H委員 自動車製造について、2030年までにバッテリーEVの比率を25%から40%にするという計画で開発を進める予定。電力事情は各国で異なるため、マルチソリューション（内燃機関や電動化技術などパワーユニットの展開を適材適所で行う）という考えで進める。また、構想段階だが、新しい会社を立ち上げる予定。
- I委員 自社は2030年までにCO₂の排出総量を2011年対比で50%、再生可能エネルギー100%を目標としている。具体的には、再生可能エネルギーの導入がポイントだが、環境性能の良い商品の生産、太陽光パネル導入や工場内のLED化などに取り組んでいる。
- I委員 弊社では、森林保全活動を行っており、森林整備範囲の拡大や環境教育などをしていきたいと考えている。
- J委員 企業グループ全体で積極的に取り組んでいるが、本事業所は発酵という技術を使っているため、水の使用が多く、グループ内でCO₂の排出が圧倒的に多い。使用水の削減にしっかりと取り組んでいきたい。
- J委員 LED化等のハード整備も重要だが、市民の意識醸成が重要と考えているため、自社も防府市民の一員として市民運動に協力していきたい。
- K委員 2030年にCO₂を25%削減することを目標に取り組んでいる。弊社では、電炉に使う黒鉛棒を製造している。黒鉛棒を使用する電炉はCO₂の排出量が高炉に比べて4分の1くらいに抑えられるため、環境に優しい。
- 本部長 本日、カーボンニュートラルについて宣言をしようと考えていたが、皆さんと一緒に何ができるか議論がもっと必要と思った。市民運動として盛り上がりを見せたところでカーボンニュートラルに向け、チャレンジすることを宣言したいと考えている。
給食牛乳パックリサイクルについて、子どもたちに牛乳パックで作ったトイレトペーパーを贈ろうと思っている。こうした取組も意識の醸成につながると考えている。
市民運動を盛り上げるため、子どもからお年寄りまで取り組みやすいキャッチコピーを考えていきたい。

- 本部長 次に、基盤整備について伺う。
- K委員 原料調達は、三田尻港を利用しているが、輸出は、県外の港を利用している。輸出においても、三田尻港を利用できれば助かるため、今後の港湾整備に期待している。
- 本部長 港湾整備について、三田尻港は公共岸壁としての整備であるため、皆様の御協力をいただきたい。
- H委員 国分寺から毛利氏庭園の間のカラー舗装道路が歩きにくいので早急にメンテナンスをしてほしい。
- 本部長 私も気になっていた箇所だが、国の補助金制度上、変更を加えられない期間があった。ようやく、その期間も経過したので、直したいと考えている。
- 本部長 どのようなことでも結構ですので、御意見があれば伺いたい。
- L委員 農大生が栽培した花を市内の花屋に卸すことはできないか。売れる花などの市場動向を農大生が知るためにも、小売業者との繋がりと良い。
- 本部長 4月に農林業の知と技の拠点オープンして、新しいことが色々と始まる。こうした動きの中で可能性があると思う。農大生がどうしたら売れるのか、どのような人が買ってくれるのかを理解することは、いい物を作ることに繋がると思う。
- C委員 昨年、地元の大道地域を盛り上げたいとの思いで、大道駅近くに店舗をオープンした。おかげさまで、多くの方に来店いただいているが、改めて大道駅周辺は人が少ないと感じた。防府市の社会増が中四国地方で一位と伺い、驚くとともに、全国の他地域も厳しい状況だと感じた。
- I委員 令和4年の防府市の社会増が中四国地方1位というのはすごい。労働人口の確保は、企業の活力につながるため、引き続き、取組を進めてほしい。
- 本部長 人口の社会増は、企業活動の結果と考えている。各年度の分析をしっかりと行ってきたい。
- E委員 創業・交流センターについて、レンタルキッチンでの4月開店が決まった。また、利用促進に向け、ターゲットを絞ったPRを行っている。

E委員 防府商工会議所では、レノファ山口、防府観光コンベンション協会と「まちづくりパートナーシップ包括連携協定」を締結した。スポーツを通じた交流人口の増加、商工業や観光の活性化につなげたい。

H委員 朝夕の通勤時の渋滞を少しでも緩和できるよう、県道に常時左折が可能なレーンの設置を要望し、県に受け取っていただいた。

J委員 防府読売マラソンの大会レベルが上がっているが、引き続き、一般市民にも広く開かれる大会となるよう、タイムが4時間以内というエントリー条件を維持してほしい。

本部長 防府読売マラソン大会については、4時間を維持したいと考えている。

本部長 いただいた意見をしっかり検討し、今後の対応につなげていきたい。また、施策が有意義なものとなるよう、引き続き、ご意見をいただきたい。

閉会